

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 30年 6月 1日

京都府知事 様

提出者

住 所 香川県高松市朝日新町32番45号

氏 名 タチバナ工業株式会社

代表取締役 本杉 成美

電話番号 087-851-6848



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

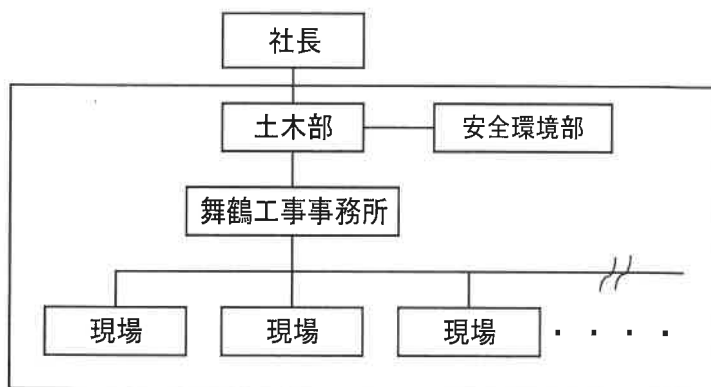
事業場の名称	舞鶴市内の各現場
事業場の所在地	京都府舞鶴市内
計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 96, 533万円
③ 従業員数	111人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物の一連の処理の工程</p> <p>①発生抑制 産業廃棄物の発生を抑制できる工法採用や、必要最小限の資材等の購入を行う。</p> <p>②再生利用 繰り返し使用できる資材等は丁寧に扱い、再利用を徹底する。</p> <p>③中間処理 産業廃棄物の分別を徹底し、再資源化を行う処理業者への委託を推進する。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成29年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	排出量	1,380.00	2.86	1.56	0	0	0	
	(これまでに実施した取組) 平成29年度は、一現場で1,000tを超えるがれき類が発生したため排出量が多くなりました。 工事現場から排出する建設廃棄物については再生資源化施設の活用により再資源化に努めました。							
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	排出量	460.00	5.00	10.00	1.00	1.00	3.00	
	(今後実施する予定の取組) 工事現場で発生する産業廃棄物は、その全体量の80%以上がリサイクル可能な副産物であると考えられるので、今後も現場内で徹底した再利用と分別を行った後に、中間処理場へ搬出し、出来る限りの再資源化に努めます。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類は、コンクリート殻やアスファルト殻の分別を徹底して行った後、中間処理場へ搬出しました。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の加え、木製型枠などの丁寧に扱うことで再度利用することが可能な資材は、その再利用を促進し、産業廃棄物の発生を抑制します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成29年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組) 実施しておりません。								
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組) 現時点においては自ら行う産業廃棄物の再生利用を行う予定はありません。								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成29年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0		
(これまでに実施した取組) 実施していません。								
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0		
(今後実施する予定の取組) 現時点で、自ら産業廃棄物の中間処理を行う予定はありません。								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(平成29年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組) 実施していません。								
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組) 現時点で、自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はありません。								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(平成29年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
	全処理委託量	1,380.00	2.86	1.56	0	0	0	
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0		
再生利用業者への処理委託	1,380.00	2.86	1.56	0	0	0		
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0		
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物については、認定を受けている処理業者に委託し、その処理を行っています。								

【目標】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	
全処理委託量	460.00	5.00	10.00	1.00	1.00	3.00	
優良認定処理業者への処理	0	0	0	0	0	0	
再生利用業者への処理委託	460.00	5.00	10.00	1.00	1.00	3.00	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組) 今後も、産業廃棄物の処理は、認定を受けている処理業者に委託し、その処理を行います。							
②計画							
※事務処理欄							